漢文　語順のルール

**〈はじめに〉**Ｑ１、【白文でそれぞれＡとＢの意味のちがいわかりますか？】

　　　　　　　Ａ、我見人　　　　Ｂ、人見我

Ｑ２、【次の一文を現代語訳できますか？】

大王欲得璧、使人発書至趙王。（璧…宝玉）『史記』「完璧帰趙」

【復習】　○二字熟語の構成

①似た意味の漢字を重ねる　　　　　Ex)身体・離散…他には？（　　　　　　　）

②反対・対立の意味の漢字を重ねる　Ex)起伏・着脱…他には？（　　　　　　　）

③主語・述語の関係になる　　　　　Ex)国営・日没…他には？（　　　　　　　）

☆「国立」は「国が営む」、「日没」は「日が没す」と書き下す。

④下の字が上の字の補語・目的語　　Ex)登山・読書…他には？（　　　　　　　）

☆（　　）字目から読む。つまり熟語に（　　　）という返り点を付けられる。

⑤上の字が下の字を修飾する　　　　Ex)高所・深林…他には？（　　　　　　　）

☆上の字が下の字を詳しくしている。

⑥否定語と被否定語の漢字を重ねる　Ex)非常・不能…他には？（　　　　　　　）

☆「非常」は「常にず」、「不能」は「ず」と書き下す。

　　　　　　　　漢文でまず理解したいのは？

ここがポイント

ここ

③主語・述語の関係になる　　　　（国立タイプ）

④下の字が下の字の補語・目的語　（読書タイプ）

⑤上の字が下の字を修飾する　　　（高所タイプ）

　　　　　　　　具体的には？

　　（白文）　　　　　　　　（現代語訳）　　　　　（書き下し文）

【参考】

S・V・C・O

主語・述語・補語・目的語

山高く、水清し。

我山に登る。

③山高、水清。

Ｓ　Ｖ　　Ｓ　Ｖ

山は高く、

水は清らかだ。

④我登山。

　Ｓ　Ｖ　Ｃ

⑤我得赤花。

我赤き花を得(る)。

Ｓ　Ｖ　　Ｏ

私は赤い花を

手に入れる。

私は山に登る。

ここまでを踏まえて…〈はじめに〉の答え合わせを確認してみよう！

　　【Ｑ１、】

Ａ、我見人　→　我レ　我人を視る（私が人を見る）

Ｂ、人見我　→　人レ　人我を視る（人が私を見る）

Ａは「我見」が③主述の関係になります。また「見人」が、④下の字が上の字の目的語になります。

Ｂは「人見」が③主述の関係になります。また「見我」が、④下の字が上の字の目的語になります。

どうでしょう？語順によって意味が変わるのです！

【Ｑ２、】

　　　　　　大王欲得璧、使人発書至趙王。

Ｓ１Ｖ１Ｏ１

ここから、大王が「何か」を欲しているということが分かります。「何か」とは、「得璧」です。「得璧」は「壁を得ること」。つまり、「大王は壁を得ることを欲している」のです。

　Ｖ　Ｏ

大王欲得璧、

まずは「大王欲得璧」のＳ、Ｖ、Ｏ、Ｃを確認してみましょう。

つまり現代語訳は、「大王は宝玉を手に入れたいと思い、使者に、手紙を書いて趙王のもとに寄こさせた」とするのが妥当ではないでしょうか。

このことから、書き下し文は「大王璧を得んと欲し、人をして書を発し趙王に至らしむ。」となります。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【ＡをしてＢ（せ）しむ】（ＡにＢさせる）

これはいきなり動詞「使」なので主語が必要です。もちろん「人（使者）に～させる」のは「大王」です。したがって、「大王が～をさせた」ということが分かります。

そして使者がしたこととは、「発書」と「至趙王」です。これを、大王が命じて行わせたのです。つまり、「大王が使者に、手紙を書いて趙王のもとに寄こさせた」のです。

次に「使人発書至趙王」のＳ、Ｖ、Ｏ、Ｃを確認してみましょう。

Ｖ４Ｃ４

Ｏ３

　Ｓ３Ｖ３

Ｖ２　　　　　　Ｏ２

使人発書　至趙王。